

森の恵みの木のおもちゃ広場、グッド・トイカフェ（おもちゃの広場）の開催 （人とまちと森をつなぐ木のおもちゃプロジェクトの会／千葉県）

事業の目的

木育活動（木のおもちゃ広場、木工ワークショップ、自然体験など）により、自然の良さを肌で感じ、木に親しみ、木に学び、森林環境への意識や理解を深めるきっかけとなる場所の提供をする。また、森林情報の発信源となり、森林資源の循環利用や山間部への人の流れを創り出すための都市部と山間部の橋渡し役となる。

事業の内容

①2月23日（祝日）【木育事業】木のおもちゃ広場および木工ワークショップ）の開催

②3月26日（日）【グッド・トイカフェ（おもちゃの広場）】

東京おもちゃ美術館からグッド・トイ受賞おもちゃの借受制度を利用して開催。全国を巡回する（1回/年）。流山市では今年2回目の開催。【遊び】をテーマにグッドトイ（45点）の他、木育の観点から、森の自然遊びコーナー・森の絵本コーナーを設け、自然の木で遊ぶ環境を併設した。（樹種積み木、カプラ、ロープワークを取り入れた。）

森の恵みの木のおもちゃ広場①感想、手応え

今回は、全国林業研究グループ連絡協議会 林業後継者養成事業助成金を受けての開催。木のおもちゃの広場を【学びの機会】にとらえ、パネル展示・森林クイズコーナーを設け、森林や木を知ってもらおう企画とした。特に大人が、新鮮な反応を示し、親子で一緒に考えるシーンが多く見られた。次回も工夫をして楽しみながら学ぶ企画を考えたい。木工ワークショップも初めての試みだったが、来場者のものづくりへの関心の高さを知ることができた。小学生には、創意工夫が楽しめるモノづくり体験となり良かったと思う。小学生高学年向けにもう少し難しいものへの要望もあった。おもちゃの広場と木工ワークショップを別のイベントとして、年齢分けができる方法も検討する。

次回開催についての問い合わせがあり、期待してもらえる嬉しさと継続への緊張感を持ちつつ、今後の企画・運営に力を注いでいく。

参加された方からのアンケートによると、満足度も高く、次回の開催にも期待する声が聞こえた。昨年の夏から『木育ひろば』や『木工ワークショップ』の事業を少しずつ増やしているが、回を増すごとに『ものづくり』への期待感が高まっていることを感じる。

グッド・トイカフェ（おもちゃの広場）②感想、手応え

今回は、グッド・トイが中心の開催だったが、たくさんの木のおもちゃに触れていただき、木育の必要性も感じてもらえたと思う。木工ワークショップや自然体験への希望も多い為、これからも遊びを通じて自然に触れる機会を増やし、日本の大切な森林環境や自然環境を

大切に守り育てていく『心』を子供たちに伝えていこうと思う。現在、来る5月に『親子木育ひろば&木工ワークショップ』を計画中。

木の良さを伝え、生活の中に木製品を取り入れてもらう活動を今後も続けて行きたい。特に都市部から山間部、林業に少しでも貢献できるようにイベント開催が、定期的に継続できるように努力していく。

参加者のみなさんからの喜びの声を聴くことや、今後への期待に応えるため、木育イベントや木工ワーク・木育講座を継続していきたい。そのための資金繰りや行政への協力、企業とのコラボ企画など、提案できるものを検討し、今後、事業として確立していけるように視野を広げていく。

当団体が目標とする『人とまちと森をつなぐ』役目を果たせるように、林業の人材不足や樹々の循環利用にも貢献するため、全国の森林の情報や森を守っている人々の姿(木こり)の仕事紹介など、子ども達を中心とした働きがけを続けていこうと思います。

ちばの木（サンプスギ）のおもちゃ 一番人気

木製のビー玉すべり台



よっつみ木



サンプスギの積み木



森のめぐみのつながり【パネル展示】

千葉県木育コーディネーター紹介



森と木のクイズコーナー



木工ワークショップ



おもちゃの消毒作業



グッド・トイカフェ（おもちゃの広場）記録写真



